

木造住宅サプライチェーンの中核は

加工領域さらに拡散の可能性

プレカット業界は木材・建材サプライチェーンの中核を担う存在として、ますます重要な役割を担う。国土交通省の12年度施策「地域における木造住宅ブランド化構想」(概算要求額100億円)にも明確に示されており、地域材を使って地域の中小工務店が販売する低価格の木造長期優良住宅に対する総合的な支援に向けて、地域の木材・建材流通が連携し、工務店はもとより、木材製品製造、流通がサプライチェーンを組み、地域型住宅を安定供給していくことを想定している。

同省では協業化・組宅取壊保険や長期優良住宅等の申請代行、フラット35Sや住宅エコポイントなどの住宅法制度登録申請受付委託業務から撤退したケースも出てきたが、まさに象徴的な出来事であった。加工面では依然として多くのサイディング業者が、大手の住宅会社、現場加工コストと比較し、あらゆる面で工場電気・ガス系統などへの参入も、職人等を上手に組織化できれば面白くすることができる。CADをベースとした業務の膨らみもまだ可能だが、同社の動きで注目されるのは、サイディングプレカットに向けた動き。



昨年、一気に全国に広がり始めた業者系サイディングのプレカット事業

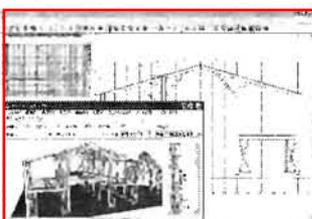
た出隅加工は、既製品では対応しきれない実際の住宅寸法的に正確に対応でき、こうした現場仕事の変化を、トーナルコやスト軽減として提案する。業者系サイディングは、「大手の住宅会社、現場加工コストと比較し、あらゆる面で工場電気・ガス系統などへの参入も、職人等を上手に組織化できれば面白くすることができる。CADをベースとした業務の膨らみもまだ可能だが、同社の動きで注目されるのは、サイディングプレカットに向けた動き。」

老人ホーム等の非住宅分野支援

サイディングプレカット等加工部位の拡充

プレカットCADの開発動向はプレカット業界の最新の取り組みや今後の方向性を映している。プレカット機械の生産性向上や設備増強により供給力が拡大する一方、木造住宅市場の縮小で需要自体が先細りになっている。そのため、販売単価が下落しており、各工場の収益環境は厳しくなっている。

を提案するほか、サイウ追い風もあるが、従来はRCや鉄骨造で建てる取扱い商材の拡充模建案での木造提案が注目を集めている。



ネットイーグルが開発した大断面集成材対応の非住宅向けCAD「XF15」

CADメーカーは様々な切り口でこのニーズに添えているが、ネットイーグル(福岡市)では公共建築や介護施設などの非住宅建築の木材利用促進法とい

付加価値・多機能化

プレカットはこれまでレカット会社の有するでの構造材、羽柄材、機能等、単に木材製品合板等の加工、邸別出荷という機能に加え、で評価し、執拗に納材工務店・ビルダーに対する構造設計支援、住りの住宅会社、ビルダー

こうした状況に対しホームや保育園などの技術利用。公共建築物造による老人ホームや保育園の建築で、「高

CAD開発

宮川工機はサイディングプレカットに向けたソフト開発に加え、生産設備も開発しており、今後はさらなる総合生産化への支援が必要としている。